

中国・韓国の特許調査に関する検討

知的財産情報検索委員会
第 3 小委員会*

抄 録 近年、中国・韓国でのビジネスの機会が広がり、中国・韓国の特許調査の必要性が増してきている。これまでの商用データベース（以下DBと略称する）に加えて特許庁およびその関連団体が提供するDBも充実してきている。これら特許庁とその関連団体が提供するDBは、いずれも原語および英語にて提供されている。ここでは原語によるDBにてどの程度の調査が可能かを中心に検討を行った。その結果は言語の問題はあるものの充分使用できるものであった。

目 次

1. 背景とねらい
2. 検討の手順
3. 中国・韓国特許情報を提供するDBの基礎情報
4. 主要DBにおける検索結果の比較
 4. 1 中国特許DBにおける結果
 4. 2 韓国特許DBにおける結果
5. まとめ

1. 背景とねらい

中国・韓国でのビジネスの機会が広がると共に、中国・韓国の特許調査の必要性が増してきている。これまで中国・韓国の特許調査をする場合には、商用DBのDWPIやINPADOCを使用して調査するか、不十分ながらも中国の場合にはCHINESE PATENT ABSTRACTS IN ENGLISHを使用するか、あるいは現地代理人に調査を依頼するのがほとんどであった。ところで近年、それらに加えて各国特許庁およびその関連団体から特許情報がインターネットを通じて提供されるようになってきた。中国・韓国についても同様であり、いずれも原語および英訳抄録にて提供されている。またこれら原語提供のデータをもとに機械翻訳を介して日本語で

検索が出来るPAT-LIST-CN/WEBのようなサービスも開始されている。

本稿では、中国・韓国特許情報を入手することが可能なDBの比較をする一方で、原語によって提供されているDBについてどの程度の調査が可能なのかを確認してみた。また英訳抄録が提供されているDBについては、従来の英語による検索が可能なDBとの関係についても考察を行った。

上記検討を行っていく中で、特許庁およびその関連団体から提供されているDBの検索のためのノウハウ事項についても知見を得たのであわせて報告する。

2. 検討の手順

本検討においては、下記の手順で作業を進めた。なお、本検討で実際に用いたDBは、本委員会メンバーの所属する企業の環境により選択した。

- ① 中国・韓国特許情報を提供するDBの洗い出しと基礎情報のまとめ
- ② 書誌事項による検索

* 2005年度 The Third Subcommittee, Intellectual Property Information Search Committee

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

③ 国際特許分類（IPC）による検索

3. 中国・韓国特許情報を提供するDBの基礎情報

中国・韓国の特許DBは、原語提供と英語提供のものが存在する。これらDBについて従来の商用DBも含めて収録範囲、タイムラグ等を中心に後掲の別表1（中国）、別表2（韓国）に示す。

別表1によれば中国特許においては、英語にて提供されているDBはいずれも抄録ベースのDBではあるが、全件に抄録が収録されているわけではなく、SIPO（State Intellectual Property Office of P.R.C：中華人民共和国国家知識産権局）の提供する英語DBに見られるように、中国以外から優先権出願されているものについては抄録がつけられないのが基本的な考え方のようである。従って、これらのDBでキーワード検索をした場合には、タイトル中のみから検索されるものもあり、結果的に漏れが生じることになる。

一方、同様に抄録ベースではあるが、DWPIの場合にはデータの構成が発明単位でありファミリーデータをもつため、このファミリーデータの書誌事項等にて検索される場合もあることからSIPOの英語DBやCHINESE PATENT ABSTRACTSなどよりもヒット率があがることは予想できる。しかしながら、DWPIには実用新案データが含まれていないという弱点もある。

一方SIPOの中国語DBや国家知的財産権局知的財産権出版社が提供しているCNIPR（China Intellectual Property Net：中国知的財産権網）のような中国語によるDBでは収録範囲およびタイムラグに関しては問題なく、言語の障壁という問題があるとはいえ是非ともこちらを使用すべきであろう。また特にCNIPRについては全文検索が可能である点も魅力的である。

別表2の韓国特許に関しても中国と同様に、

英語にて提供されているDBは、韓国特許庁の外郭団体であるKIPI（Korea Institute of Patent Information：韓国特許情報院）が提供するKIPRIS（Korea Industrial Property Rights Information Service：韓国工業所有権情報サービス）中のKPA（Korea Patent Abstracts：韓国特許英文抄録）に見られるように、収録に制限がある。すなわちKPAでは特許のみの収録で実用新案をカバーしていない。また、公告・登録特許に関しては1979年1月1日以降を収録しているが、1999年12月31日までは内国人による出願のみである。外国人による出願は2000年以降収録されているが、PCT出願によるものは除外されている。同様に公開特許に関しては2000年1月1日以降の収録であるが外国人による出願は2000年10月1日以降の収録であり、やはりPCT出願は除外されている。ここで注意すべき点は、中国・SIPOの英語DBは抄録収録に制限があるものの、書誌事項は一応全件収録されているのに対して、KPAは書誌事項も収録されていないことである。

また、従来からの商用DBであるINPADOC、DWPIのようなDBであっても収録状況は不完全であり、英語により提供されているDBは一般的に収録状況に難があるといえる。

4. 主要DBにおける検索結果の比較

前項で述べたように、中国、韓国ともに英語で提供されているDBは収録範囲およびその状況に問題がある。つまりデータにかなりの抜け落ちがある状態でありDBとしては基本的な条件が押さえられていないと言われても仕方のない状況といえる。この状況については各DBのプロデューサーも把握していて改善をはかっているが、遅々として進んでいないのが現状である。

ところで中国、韓国ともに原文にて提供され

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

ているDB, 具体的には中国ならSIPOの中国語DBやCNIPR, 韓国ならばKIPRISについては収録の問題はほとんどない。実際に原文にてどの程度の調査が可能か検討してみた。

書誌事項検索として一般的に行われる「出願人名検索」「発明者名検索」を, また分類による検索として「IPC (国際特許分類) による検索」を行った。

一般的に発明者名・出願人名による検索は, よく行われる検索ではあるが, 例えば英語のDBで英語圏以外の発明者・出願人の検索は難しく, また例えば日本語のDBで日本人以外の発明者・出願人の検索も困難であるといったように, 異なる言語による発明者の検索は非常に困難である。

このようなことを考慮して, 出願人・発明者の国籍として, 中国, 韓国以外に, 日本, 米国を選定した。

具体的に選定した出願人, 発明者, IPCコードは次の通りである。なお, 発明者は担当した委員がよく知っている分野の発明者中から選定した。

- ① 出願人：ハイアール (中国), LG (韓国), NEC (日本), IBM (米国)
- ② 発明者：吉田尚正 (日本), 張智春 (中国),

キムジョンヒョン (韓国), Williams Derek Edward (米国)

③ IPC : B60K1/00

今回の検証では, 各DBにおいて検索を行って得られたデータについては, 出願番号を照合し, 例えばあるDBでしかヒットしていない等の異なった結果が得られた場合には, ヒットした全てのデータの内容を確認した上で, 正解となる件数を判定した。なお, 各データを照合する都合上, 検索対象期間を限定して件数がある程度絞った。

なお, 中国特許・韓国特許検索に使用した言語表現を, 後掲の別表3にまとめた。

4. 1 中国特許DBにおける結果

(1) 出願人名検索

別表3の表記を用いて各DBにおいて行った検索結果を表1に示す。

全般的に中国語DBの方が良い結果がでているようである。逆にいうと英語DBの方に何らかの問題があるといえそうである。

- ① 日本企業が出願人であった場合には, 各DBでの差異があまり見られなかったのに対し, 他の国籍の企業ではデータにばらつきが出た。この理由として, 出願人名が日本企業である場合には比較的英文・

表1 中国特許DBにおける出願人名検索結果

検索用語	対象期間 (公開)	正解と思われる件数	英語DB					中国語DB		
			DWPI	DWPI code ※ 4	WIPS -JP	PLUS PAT	SIPO 英語	PAT -LIST	SIPO 中国語	CNIP R
NEC	1999年 8月	35	35	35	35	35	35	35	35	35
ハイアール	1998年	8	6 ※ 1	6 ※ 1	6 ※ 1	6 ※ 1	6 ※ 1	6 ※ 1	10 ※ 2	10 ※ 2
IBM	1999年 12月	37	35 ※ 1	37	32 ※ 3	32 ※ 3	32 ※ 3	32 ※ 3	37	37

注：※1：誤収録・表記の振れと思われるデータによる違い。
 ※2：出願人名の検索式を海尔のみとしたため部分一致でヒットしたことによるノイズ 2件。
 ※3：出願人が何れも1つしか記載されず, 共同出願人のうちの他方のみの表記であるための漏れ 5件。
 ※4：DWPI固有の出願人コードを用いて検証した結果。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

原語表記が統一されていたこと、網羅的に対応表記を入手できていたことが考えられる。

- ② 今回選択した中国の出願人名（ハイアール）の場合には中国語DBにおいてノイズが2件入ってしまった。その一方で英語DBでは漏れが2件生じている。まず中国語DBでのノイズの理由だが、ハイアールの中国語表記（海尔集团公司）に対して海尔で検索を行ったために勤内・约翰・范海尔や海尔德汉德制造公司在ノイズとなった。これは、中国語DBでは「中間一致」検索を用いているためである。いずれにせよ、あらかじめ正確な名称を把握しておくことが必要である。一方、英語DBにおける漏れは、HAIERの記述がHAIRと誤収録されていることによるものであった。
- ③ IBMについては、WIPS-JP, PLUSPAT, SIPO英語にて5件の漏れが生じている。SIPO英語にて確認してみると、これら5件の出願人にIBMは入っていなかったが、SIPO中国語で確認すると5件ともIBMと

他社との共同出願であり、SIPO英語は筆頭出願人しか収録していないことが確認できた。

- ④ DWPIでは、検索補助機能として例えば出願人名を参照できるEXPAND機能や出願人コードが整備されている。しかしながら中国企業名では、それらの機能を利用して完全な検索はできず、収録の漏れや誤記の可能性が否定できなかった。

(2) 発明者名検索

別表3の表記を用いて各DBにおいて行った検索結果を表2に示す。なお「発明者」だけの検索ではヒット件数が膨大となり確認が困難であったため、「各発明者が所属する企業（出願人）」名との論理積（AND）をとって限定した。

発明者名検索でも全般的に中国語DBの方が良い結果が出ている。ただし既に述べたように一般に異なる言語による発明者検索は困難である。従って発明者が中国人の場合に中国語で良い結果が出るのは当然であり、同様に漢字表記の日本人の場合にも、ある程度良い結果が出ることは理解できる。特に今回の吉田氏の場合に

表2 中国特許DBにおける発明者名検索結果

検索対象	対象期間	正解と思われる件数	英語DB				中国語DB		
			DWPI	WIPS-JP	PLUS PAT	SIPO 英語	PAT-LIST	SIPO 中国語	CNIP R
吉田尚正 (ヨシダ ショウセイ)	2002年 (公開)	4	9 ※1	0 ※2・4	0 ※2	0 ※2	4	4	4
張智春	—	16	22 ※1	7 ※4	15 ※3	15 ※3	16	16	16
ウィリアムズ	—	15	15	1 ※4・5・6	2 ※4・5	0 ※4・5	15 ※7	15 ※7	15 ※7

- 注：※1：発明者名をイニシャル (yoshida s,zhang z) で収録していることによるノイズ。
 ※2：漢字名の読み違い (Kichita Naomasa) の収録による検索漏れ。
 ※3：全発明者が収録されていないことによる検索漏れ。
 ※4：英語名での収録がないことによる検索漏れ。
 ※5：英語名の読み違いによる検索漏れ。
 ※6：出願番号の桁数の持ち方が新しい体系に対応していないことによる検索漏れ。
 ※7：目視で抽出した結果のみを記載した。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

は簡体字と漢字表記が全く同じであるために問題なく検索されている。

- ① 発明者名が漢字表記の場合には、英語DBによる正確な検索は難しい。特に日本語名は、複数の読み方があり得るため、元データの読み違いによる収録ミスによると思われる検索漏れが生じている。今回検索対象とした「吉田尚正」の場合、「吉田」を「YOSHIDA」あるいは「KICHITA」、「尚正」を「SHOUSEI」、「NAOMASA」等と読んでいる。実際にSIPO英語に代表される英語DBでは「YOSHIDA SHOUSEI」と収録されているものは1件もなかった。
- ② 吉田氏がSIPO英語で漏れた理由は上記の読み方の違いだけではない。吉田氏が発明者である4件のうち、SIPO英語では2件には発明者が収録されておらず、他の2件は吉田氏1名だけの収録であった。正しいデータは、4件のうち2件は吉田氏1名、1件は吉田氏ともう1名の計2名、もう1件は吉田氏と外2名の計3名が発明者として収録されていた。このようにSIPO英語では発明者を必ずしも全て収録している訳ではなく、全く記載されていないものもある。
- ③ 欧米人名を中国語DBで検索するのは至難の業である。中国語での表記が多種多様（別表3のウイリアムズ氏の中国語表記参照）であるため、網羅することが非常に難しいからである。今回は英語DBとの番号比較によって何とか抽出したがノイズが多くて現実的ではないことがわかった。
- ④ 従って、本検討では正確な結果を得るために、「ウイリアムズ」の中国語表記に共通する2文字（「威廉」）で検索し、出願人IBMの中国語表記（「国际商%机器」）で絞り込んだ後、目視で抽出した。

(3) IPC検索

今回の検証に際し、公開・公告（登録）公報両者を対象とした予備的な検索を行ったところ、以下のような注意点があることが判明した（検索結果は記載しない）。

表3にまとめたように、SIPO英語、WIPS-JPでは、公開公報発行時のデータが公告（登録）公報発行時点で上書きされてしまう。これは、公告（登録）公報発行時点でIPCが変更された場合、公開公報発行時点のIPCが消えてしまい、検索できなくなることを意味する。このことを十分に注意して利用する必要がある。

表3 DB別の収録データ形式（中国）
※PLUSPATは情報なし

	検索対象	
	公開	公告（登録）
SIPO中国語	○	×
SIPO英語	公告（登録）で上書き	
CNIPR	○	×
WIPS-JP	公告（登録）で上書き	
PAT-LIST	○	○

今回の検索結果を表4に示す。

- ① DWPI以外のDB間ではヒット件数が一致した。DWPIの件数が多いのは発明ごとに収録されるというデータの収録形式によるところが大きく、それぞれのファミリーデータのIPCでヒットするためである。
- ② SIPO英語では、複数IPCをそれぞれのIPC毎に独立して検索し得る持ち方をしていない。即ち、1公報に2種類のIPCが付与されている場合、中間一致検索をしなくてはヒットしてこない。例えば、出願番号CN00124088の場合、2種類のIPCが付与されているが（F04D29/44とF24F13/06）、これら2つのIPCを「F04D29/44;F24F13/06」という一つのIPCデータの固まりとして持っている。このため、F24F13/06を検索するに

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

表4 中国特許DBにおけるIPC検索結果

検索対象	対象期間	正解と思われる件数	英語DB				中国語DB		
			DWPI	WIPS-JP	PLUS PAT	SIPO 英語	PAT-LIST	SIPO 中国語	CNIPR
B60K 1/00	2003年 (公開)	16	37	16	16	16	16	16	16

は、%F24F13/06%という中間一致の検索式にする必要がある。なお、トランケーション（部分一致検索、?や%や*などの特殊な記号で全ての文字を代表するもの。語尾にこれらの記号が付けば、前方一致、語幹に付けば後方一致、両方に付けば中間一致となる。）の記号に関しては、「?」が1文字を代表し、「%」が1文字以上を代表する。また中国語のキーワード検索では「?」、「%」どちらも半角、全角が使えるが、IPC検索では半角のみである。

- ③ CNIPRでは、「主分類号」と「分類号」という二つの検索項目を持っている。「主分類号」は筆頭IPCのみを対象とし、「分類号」は全IPCを対象としているのが基本だが、「分類号」項目に入るべき筆頭IPCが欠落しているケースが存在するため、検索時には両者を用いる必要がある。

(4) SIPO英語と他の英語DBとの関係

英語DBにおいては、本検討にて使用したDBではDWPIを除いて結果はほとんど一致していた。これらはいずれもSIPOが提供しているデータをそのまま利用しているためと思われる。ところでその他の英語DBとして、INPADOC, esp@cenet, CHINESE PATENT ABSTRACTSがあるが、これらのDBでも同じかどうか出願人がIBMの場合と発明者が吉田氏の場合について確認してみた。結果としては出願人検索の場合にはSIPO英語と全く同じ結果であり、

やはり筆頭出願人しか収録されていなかった。その一方で発明者については、読み方の問題はあるものの全ての発明者が収録されていた。このことから、これら3つのDBでは、SIPOからのデータそのままではなく、データを追加しているものと思われる。esp@cenetの説明によればEPOでは各国特許庁からのデータ以外に情報源としてEPODOC, DOCDB, BNSデータベースを持っているとの記述があり、独自にデータ追加を行っている。ただし、あくまでも各国特許庁からのデータが主であるため、前述した出願人の例にみられるように完全なデータにはなっていない。なお、INPADOC, esp@cenetはEPOが運用しており、またCHINESE PATENT ABSTRACTSはINPADOCデータも利用してかつINPADOC自体が、CHINESE PATENT ABSTRACTSのプロデューサーとなっているため、これらのデータは共通のものと思われる。

(5) 中国特許DBの書誌事項検索結果のまとめ

- ① 英語DBは、商用DBでも基本的にはSIPO英語のデータを元にしてている。このため、収録状況のみならずデータの抜け等の不備がある。その結果、検索漏れを生じる可能性が高い。
- ② 英語DBと中国語DBとでは検索方法が異なっている。すなわち、中国語DBでは中間一致で検索が行われているのに対して、英語DBでは完全一致で検索が行われている。このため、中国語DBでは例えば出願

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

人検索におけるハイアールの例のようにノイズが大となる可能性がある。従って、検索時には、出願人名等は可能な限り完全な表記を用いる必要がある。またIPC検索の例のように、英数字のみの検索はやはり完全一致での検索となるので、トランケーションで中間一致の検索とする必要がある。

4. 2 韓国特許DBにおける結果

(1) 出願人名検索

別表3の表記を用いて各DBにおいて行った検索結果を表5に示す。なお、本検討では、登録公告日を限定して検証したが、別表2にあるDBのうち、KIPRIS英語(KPA), WIPS-JP-KPAは、(2)で述べるとおり、登録公告日が検索対象となっていない事が発明者名検索の調査の過程で判明したため、検討対象外とした。

今回検討したDBのうち、経過情報を元にデータを収録・更新しているものと、公報データを収録するものとで検索結果が異なっている。

① DWPIは、公報情報を元に作成されるDBであり、登録公告後に権利者が変わってもデータは変化せず、元の出願人名は残る。従って、登録公告後の変化が反映されるKIPRIS韓国語とは異なり、事業買収

などで出願人名が変更となった場合にはノイズ及び検索漏れの原因となる。ただし、ファミリーデータに何らかの変更情報が反映された場合には、漏れは抑えられる。

② WIPS-JP-KPIとKIPRIS韓国語とはほぼ同じ結果となったが、KIPRIS韓国語では1件誤収録による検索漏れ(表5※3)があったのに対し、WIPS-JP-KPIではデータの内容が修正されており、WIPS社が独自に手を加えているものと思われる。

(2) 発明者名検索

別表3の表記を用いて各DBにおいて行った検索結果を表6に示す。なお、発明者名の検索では、中国DBの場合と同様、「発明者」だけの検索では件数が膨大となり確認が困難であったため、「各発明者が所属する企業(出願人)」名との論理積(AND)をとって限定した。

また、WIPS-JP-KPIは発明者名での検索ができないので、検討対象外とした。

なお、WIPS-JP-KPAおよびKIPRIS英語(KPA)は登録公告日が検索対象になっていないことが、この調査過程で判明したのでここで説明をする。

① 韓国人名を漏れなく検索するには韓国語

表5 韓国特許DBにおける出願人名検索結果

検索用語	対象期間 (特許公告)	正解と 思われ る件数	英語DB				韓国語DB
			DWPI	DWPI code	WIPS-JP -KPI	PLUS PAT	KIPRIS 韓国語
NEC	1999年 9月	65	64 ※1	64 ※1	65	64	65
LG	1998年 8月16日	108	206 ※2	206 ※2	108	108	107 ※3
IBM	1999年 9月	39	37 ※3	39	39	38 ※4	39

注：※1：データそのものの収録がなかったための検索漏れ。

※2：LGの半導体事業部門が現代に移転されているが、そのことが反映されていないため。

※3：出願人名の誤収録による検索漏れ。

※4：1件漏れているが、検証できず。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

表6 韓国特許DBにおける発明者名検索結果

検索対象	対象期間 (登録公告)	正解と 思われ る件数	英語DB				韓国語DB
			DWPI	WIPS—JP —KPA	PLUS PAT	KIPRIS 英語	KIPRIS 韓国語
吉田尚正 (ヨシダ ショウセイ)	—	7	20 ※1	0	2 ※4	0	7
キム・ジョン・ヒュン	1998年	4	14 ※1	11 ※3	4	11 ※3	4
ウィリアムズ	—	4	4	0	1 ※4	0	3 ※2

注：※1：発明者名をイニシャルで収録していることによるノイズ (Yoshida S, Kim J H)。

※2：英語名の韓国語表記の不備による検索漏れ。

※3：公告日 (PD) で期間限定したが実際は登録日だったことによる差異。

※4：収録が別表1のように2003年で更新停止している事による漏れ。

表記で検索可能なKIPRIS韓国語を用いるのが最も良いという当然の結果となった。

- ② DWPI以外の英語DBは、発明者検索にはほとんど利用できないという結果となった。これは、収録範囲の問題によるものと考えられる。特にWIPS-JP-KPA, KIPRIS英語 (KPA) は、韓国内国人の出願以外の発明は、収録件数が少ないので、注意が必要である (3. 参照)。
- ③ KIPRIS英語 (KPA) での発明者名検索の注意点として、トランケーションを利用することが必要であることが挙げられる。即ち、例えば「キム・ジョン・ヒュン」を検索する場合、英語表記では「Kim Jong Hyun」あるいは「Kim Jong Hyeon」となるが、これをそのまま検索式として入れると「Kim」と「Jong」と「Hyun」とのAND検索となってしまうノイズが大となる。このような場合には、「?」を用い、「Kim?Jong?Hyun」と入力すると、正しく検索することができる。
- ④ 表6において、出願人が韓国内国人の場合で登録公告日が1998年で、発明者名を「キム・ジョン・ヒュン」とした場合、KIPRIS韓国語とKIPRIS英語 (KPA) とで大きな差がでている。各検索結果を詳

細に検証したところ、KIPRIS英語 (KPA) でヒットした11件のうち実際に登録公告日が1998年のものは3件だけであり、残りは全て1999年であった。このような事が生じた理由は、KIPRIS英語 (KPA) でPD (Publication Date: 公告日, 発行日) とされている検索項目でヒットするのは、実際には登録日 (GD: Granted Date) であったためである。すなわち、KIPRIS英語 (KPA) では登録公告日での検索はできないことになる。PDは発行日であるから、本来はKINDをAに限定すると公開日 (公開公報発行日)、B1に限定すると登録公告日 (登録公報発行日) となるはずであるが、KIPRIS英語 (KPA) の場合、B1で限定して登録公告日のつもりでPDを20030130で検索すると、実際には、登録日が20030130のデータがヒットしてくることになる (例: KPAで前記検索条件を用いてヒットした登録番号1003721420000の検索結果は、Date of publication of application: 30.01.2003と記載されているが、当該案件の経過記録をKIPRIS韓国語で確認すると登録日が20030130で特許公告日は20030512となっている)。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

(3) IPC検索

今回は検証のために検索IPCを限定して行った。検索結果を表7に示す。なお、今回の検討対象期間がKIPRIS英語 (KPA), WIPS-JP-KPAの蓄積範囲外であったので、検討対象外とした。

表7 韓国特許DBにおけるIPC検索結果

検索対象	対象期間	正解と思われる件数	英語DB		韓国語DB
			DWPI	WIPS-JP-KPI	KIPRIS韓国語
B60K1/00	1997年(公開)	11	27	11	6

- ① 中国の場合と同様、DWPIはファミリーのデータからヒットする可能性があるため、全体的にはヒット件数が多くなる。
- ② KIPRIS韓国語のヒット件数が少ないのは、表8に示す通り登録されると、公開データを上書きし、登録データになってしまうためである。最新情報で検索できるメリットはあるが、公開または登録に切り分けて検索することはできないという問題がある。一方、WIPS-JP-KPIは公報データの収録となっている。

表8 DB別の収録データ形式 (韓国)

DB	検索対象	
	公開	登録公告
KIPRIS韓国語	登録で上書き	
KIPRIS英語	登録で上書き	
WIPS-JP-KPI	○	○

(4) 韓国特許DBの書誌事項検索結果のまとめ

- ① 中国の場合と同様に英語DBは収録範囲、収録状況に問題があり、検索漏れの可能性が高い。
- ② KIPRIS韓国はデータ収録の状況から見ても韓国の特許を調査する場合には、このDBを使用するのが最も適切な結果が得られる。

- ③ DWPIは、基本的に公報データをベースとして収録しているため、出願人/権利者が変更になっても対応していない。従って、出願人が変更になった場合にはノイズや漏れを生じる場合がある。しかし、ファミリーデータに何らかの変更データが反映されればヒットする可能性もある。

5. まとめ

中国・韓国特許DBは、近年整ってきている。しかしながら言語の問題があり、われわれが容易にアクセス可能なのは英語にて提供されているSIPO英語やKIPRIS英語 (KPA) である。ところが今回の検討で判明したように、これら英語にて提供されているDBはいずれも収録状況に難があり、検索漏れの可能性が非常に高い。また、DWPIやINPADOCのような従来 of 商用DBでもやはり同様に収録状況に問題がある。これらは基本的にはSIPO英語やKIPRIS英語 (KPA) のデータを元としているためと考えられる。

一方、SIPO中国語やKIPRIS韓国語のように原語にて提供されているDBは、言語上の困難さはあるが、データの収録状況、データの信頼性という意味では、これらに勝るものは無いと言えよう。今回、これら原語によるDBで書誌事項の検索を行ってみたが、充分利用できる感触を得た。今後は更に主題検索や検索結果の評価方法等の検討をすすめたい。

なお今回の検討中にWIPS-JPの中国特許では、2003年出願分の一部が蓄積されない状況があったことが判明した。WIPSの内部蓄積形式が2003年10月以降の中国特許の出願番号の新しい形式に対応できていなかったためである。番号形式等の変更時には注意が必要である。本件は既に、我々の指摘に対し修正が完了している。

また今回の検討の結果、同じDBシステムで

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

ありながら、収録国によっては、データの持ち方が異なるケースがあることが判明した。WIPS-JPでは、韓国の場合は原語公開・原語登録（公告）、英語公開をそれぞれ別ファイルとして検索させているのに対し、中国の場合は、原語公開と登録情報を含んでいる英語情報をマージさせて1特許1データとしている。

なお、本稿は、知的財産情報検索委員会2005年度第3小委員会での研究テーマであり、下記

メンバーにより検討した結果をまとめたものである。

鶴田 佳邦（ダイキン工業株式会社）
赤壁 幸江（昭和電工株式会社）
犬塚 祐二（株式会社トヨタテクノサービス）
遠田 孝幸（三洋電機株式会社）
平間 雅子（株式会社日本電気特許技術情報センター）
吉田 均（旭化成株式会社）

（原稿受領日 2006年9月21日）



※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

別表1 中国特許DB

データベース名(提供者) URL	言語	特徴	種別	特ノ実	収録範囲	タイムラグ	収録件数 (1995-2004 公開・公告)	キーワード検索対象	ステータス	コスト	出力項目	出力形式	備考
DWPI http://www.dialogclassic.com/ (DialogClassicWeb版の場合)	英語	STN, DIALOG, Questel/Oribitで提供される従来型オンライン商用データベース。独自の収録形式をもち、41特許発行機関から発行される特許明細書から発明単位で収録され、ファミリー情報以外に関連の公報、独自抄録・タイトル、独自分類等多様な検索項目有。	公開		1985/9/10- 1994	3-4ヶ月	456,349	タイトル・抄録	×	有料	書誌・抄録 代表図面	テキスト 代表図面	専用新案が収録されていない。 また登録特許では順次収録 中ではあるが不完全な収録 状況。
			登録		1997-2005/7/27	-	67,616						
INPADOC http://www.dialogclassic.com/ (DialogClassicWeb版の場合)	英語	76の国と特許発行機関が発行する特許の書誌種別およびファミリー情報がまじりかであるほか、46の国およびファミリー情報の特許に関する法的状況も収録。 現在はヨーロッパ特許庁が提供しており、esp@cenet及びOPSIにて無料で入手可能。	公開	特	1985/9/10-	約4ヶ月	461,710	タイトル	×	有料	書誌	テキスト	
			登録	実				155,467					
esp@cenet http://ep.espacenet.com/	英語	EPOが提供するDBであり、中国情報は「Worldwide」に収録されている。また、INPADOC情報を併せ持つ。	公開	特	1985/9/10-	約2ヶ月	943,603 (特+実の 数)	タイトル・抄録	○	無料	書誌・抄録 ファミリー情報	テキスト	抄録・公報全文も全てが収録 されているわけではないが、 ファミリー情報が(あれば)参 照可能。
			登録	実				463,203					
WIPS-JP (WIPS Co.,Ltd) http://www.wips-jp.com/	英語	韓国のWIPS社が開発提供。日、韓、中、米、欧、PCT、INPADOCをカバーする一括検索システム。独自のWIPS-FAMILYを構築。中国の公報が関与入手できる。	公開	特	1985/9/10-	1ヶ月	463,203	タイトル・抄録	×	有料	書誌・抄録	テキスト (中文)	
			登録	実				155,565					
CHINESE PATENTS ABSTRACTS http://www.dialogclassic.com/ (DialogClassicWeb版の場合)	英語	中国で発行されたすべての特許を収録。書誌事項の他に英語のタイトルと抄録が含まれている。	公開	特	1985/9/10-	約10ヶ月	389,856	タイトル・抄録	×	有料	書誌・抄録	テキスト	収録の抜けがある。 全ての抄録があるわけではない 登録特許はほとんど収録無し。
			登録	実				9,260					
PLUSPAT(FAMPAT) http://questel.questel.fr/servlet/ ServletNLPage?page= welcome&lang=en (Web版の場合)	英語	主要75ヶ国の特許を収録。包括的な検索が可能。EPO-US Classiによる検索、引例の入手、統計分析が可能等の特徴がある。	公開	特	1986-	約4ヶ月	461,088	タイトル	×	有料	書誌	テキスト	
			登録	実				147,853					
PAT-LIST-ON-WEB http://www.pat- list.jp/html/index.htm	中国語	(株)レイトックが提供する有料のデータベース。約3,000社の企業については日本語での出願人検索が可能。キーワード検索でも日本語での検索が可能であり、検索結果の日本語への翻訳機能もある。ステータス情報も収録。	公開	特	1985/9/10-	1ヶ月	462,238	タイトル・抄録 メインクレーン	○	有料	書誌・抄録・代 表図・ステータ ス or 書誌・メイ ンクレーン・代 表図・ステータ ス	テキスト 公報出力 (tif)	テキストは2005/4/20、イメー ジは2005/1/26まで収録
			登録	実				155,506					
SIPO-DB http://www.sipo.gov.cn/sipo/zljs/ default.htm	中国語	国家知識産権局が提供する無料のデータベース。提供言語として中国語と英語の2種類がある。英語DBは収録率が良くないが、中国語DBはタイムラグが短く、ステータス情報の入手も可能。	公開	特	1985/9/10-	即日 毎水曜日	462,247	タイトル・抄録	○	無料	書誌・抄録	テキスト 公報出力 (tif)	
			登録	実				481,386					
SIPO-DB http://www.sipo.gov.cn/ sipo_English/zljs/default.htm	英語	国家知識産権局が提供する無料のデータベース。提供言語として中国語と英語の2種類がある。英語DBは収録率が良くないが、中国語DBはタイムラグが短く、ステータス情報の入手も可能。	公開	特	1985/9/10-	約3ヶ月	943,642 (特+実の 数)	タイトル・抄録	×	無料	書誌・抄録	テキスト	
			登録	実				462,247					
CNIPR http://www.cnipr.com/	中国語	国家知識産権局知識産権出版社が提供するデータベース。検索は無料でタイムラグも短い。検索結果の書誌事項一括出力、公報出力、ステータス情報は有料。	公開	特	1985/9/10-	即日 毎水曜日	462,247	タイトル・抄録・メイ ンクレーン 全文	○(有料)	有料 一部無 料	書誌・抄録 メインクレーン	テキスト	
			登録	実				155,551					
							481,386						

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

別表2 韓国特許DB

データベース名 (提供者) URL	言語	特徴	種別/実	収録範囲	タイムラグ	収録件数 (1995-2004 公開/公告)	キーワード検索対象	ステータス	コスト	出力項目	出力形式	備考
DWPI (http://www.dialogclassic.com/ DialogClassicWeb版の場合)	英語	STNDIALOG、Questel/Orbitで提供される従来型オンライン商用データベース。独自の収録形式をもち、41特許発行機関から発行される特許明細書から単位の収録され、ファミリー情報以外に関連の公報、独自抄録・タイトル、独自分類等多彩な検索項目有。	公開	1997/1/8-	約9ヶ月	759,211	タイトル、抄録	×	有料	書誌・抄録・代表図面	テキスト 代表図面	実用新案は収録されていない。
			登録	1986/1/30-		361,011						
INPADOC (http://www.dialogclassic.com/ DialogClassicWeb版の場合)	英語	76の国と特許発行機関が発行する特許の書誌情報およびファミリー情報がまとめられておるほか、46の国および特許発行機関の特許に関する法的状況も収録。現在はヨーロッパ特許庁が提供しており、espace@net及びOPSiにて無料で入手可能。	公開	2000/1/15-2005/3/23			タイトル	×	有料	書誌	テキスト	収録状況は不完全。
			登録	1978/2/28-2005/4/6								
esp@comet (http://ep.espacenet.com/)	英語	EPOが提供するDBであり、韓国についてWorldwideに収録されている。またファミリー情報もある。	公開	1978/01/08-2005/03/23			タイトル、抄録	○	無料	書誌・抄録・ 公報全文・明細書イメージ	テキスト イメージ	抄録・公報全文も全てが収録されているわけではない (不完全な収録状況)がファミリー情報が(あれば)参照可能。
			登録	1978/01/10-1998/06/05		576,883 (特+実)						
WIPS-JP (WIPS Co.,Ltd) (http://www.wips-jp.com/)	英語	韓国のWIPS社が開発提供。日、韓、中、米、欧、PCT、INPADOCをカバーする。包括的な検索が可能。WPI/STNの収録範囲外のデータを含む。	公開	1983/3/25-	1週間	856,854	タイトル			書誌、代表図面、 WIPSファミリー、公報全文	テキスト エクセル形式 mdb形式 WIPS形式	
			登録	1979/7/12-		345,296						
KOREAPAT/STN (Web版の場合)	英語	STNで提供されている韓国専用のデータベース、STNの他のDBを含めた包括的な検索ができる。WPI/STNの収録範囲外のデータを含む。	公開	2000/1/15-	不定期	402,825	タイトル、抄録	×	有料	書誌・抄録・代表図面、 WIPSファミリー、公報全文	テキスト 代表図面	
			登録	1979/1/1-		144,473						
PLUSPAT (FAMPAT) (http://qwebprd.questel.fr/ servlet/ServletN1Page?page= welcome&lang=en (Web版の場合)	英語	主要75ヶ国の特許を収録、包括的な検索が可能。EPO・US Classiによる検索、引例の入手、統計分析が可能等の特徴がある。	公開	1978-2003(更新停止)	不定期	269,910	タイトル(但し、 FAMPATの場合、 US EP WOIに対応特 許があればそれらの 抄録・クレーム、明細 書全文から検索でき る)	×	有料	書誌(但し、FAMPATの場 合、US EP WOIに対 応特許があればそれら の抄録・クレーム、明 細書全文から検索でき る)	テキスト	
			登録	1978-2003(更新停止)		189,770						
KIPRIS (韓国特許情報院) (http://eng.kipris.or.kr/)	韓国語	韓国特許庁傘下の韓国特許情報院が提供。検索は無料でタイムラグも短い。韓国語メニューと英語メニューがある。詳しい審査経過情報、年金情報の入手可能。制限はあるが、ダウンロードも可能。英語メニューはインターネットで英語になっているだけでキーワード検索は韓国語。	公開	1983/3/25-	3~4日	855,295	タイトル、抄録、 クレーム	○	無料	書誌・抄録・ 代表図面・公報全文	テキスト エクセル形式 (rtf,xls,html)	登録1979.01.01-1999.12.31は 内国人のみ、2000.01.01-は外 国人も含むがPCTは除外。 公報は2000.01.01-内国人だけ し公報前登録分除外、外国人 は2000.10.01-ただしPCT除 外。
			登録	1948/6/20-		371,986						
KPA	英語	英語にて抄録まで提供。ただし収録範囲に制限があり、全情報が提供されているわけではない。実用新案は含まない。	公開	2000/1/15-	不定期 (約3ヶ月)	288,751	タイトル、抄録	○	無料			
			登録	1979/1/1-		146,096						

別表3 出願人および発明者の表記

中国特許調査・出願人		出願人		発明者	
日文	中文	英文	日文	中文	英文
NEC 日本電気	日本电气 恩益禧 NEC	NEC NIPPON ELECTRIC CO ※WPIでは「NEC CORP」、INPADOCでは「NIPPON ELECTRIC CO」 の表記になっていることが多いようであった。	NEC 日本電気 恩益禧 NEC	NEC NIPPON ELECTRIC CO ※WPIでは「NEC CORP」、INPADOCでは「NIPPON ELECTRIC CO」 の表記になっていることが多いようであった。	NEC NIPPON ELECTRIC CO
ハイアール	海尔(集团公司)	HAIER	海尔(集团公司)	HAIER	HAIER
IBM	国际商%机器% (国际商业机器, 国际商用机器など)	IBM, International Business Machines Corporation	国际商%机器% (国际商业机器, 国际商用机器など)	IBM, International Business Machines Corporation	IBM International Business Machines Corporation
中国特許調査・発明者					
日文		中文		英文	
吉田 尚正(NEC)	吉田 尚正	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)	吉田 尚正	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)
張智春(ハイアール)	张智春	Zhi Chun, ZHANG	张智春	Zhi Chun, ZHANG	Zhi Chun, ZHANG
ウイリアムズ, D E(IBM)	Williams: 威廉姆斯, 威廉 Derek: 德瑞克, 德雷克, 德雷科, 德瑞科 Edward: 爱德华, 爱得华 ※語順は、「德瑞克・爱德华・威廉姆斯」のように記載。 「D・E・威廉姆斯」のようなケースもある。	Williams, Derek Edward	Williams: 威廉姆斯, 威廉 Derek: 德瑞克, 德雷克, 德雷科, 德瑞科 Edward: 爱德华, 爱得华 ※語順は、「德瑞克・爱德华・威廉姆斯」のように記載。 「D・E・威廉姆斯」のようなケースもある。	Williams, Derek Edward	Williams, Derek Edward
韓国特許調査・出願人					
日文		ハンダ		英文	
NEC 日本電気	니폰덴키, 니혼덴기, 닛본덴끼 닛뽉덴끼, 닛뽉덴끼, 헨이찌	NEC NIPPON ELECTRIC CO	니폰덴키, 니혼덴기, 닛본덴끼 닛뽉덴끼, 닛뽉덴끼, 헨이찌	NEC NIPPON ELECTRIC CO	NEC NIPPON ELECTRIC CO
LG LG電子 株式会社LG	엘지, 엘지전자, 주식회사 엘지	LG LG Electronics Inc.	엘지, 엘지전자, 주식회사 엘지	LG LG Electronics Inc.	LG LG Electronics Inc.
IBM	아이비엠, 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션	IBM International Business Machines Corporation	아이비엠, 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션 인터넷서널 비즈니스 머신즈 코퍼레이션	IBM International Business Machines Corporation	IBM International Business Machines Corporation
韓国特許調査・発明者					
日文		ハンダ		英文	
吉田 尚正(NEC)	요시다 쇼세이, 요시다 쇼우세이 요시다 쇼오세이, 요시다 나오마사	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)	요시다 쇼세이, 요시다 쇼우세이 요시다 쇼오세이, 요시다 나오마사	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)	Yoshida(Yosida) Shosei(Shousei, Naomasa)
김ム・ジョン・히ョン(LG)	김중현	Kim Jong Hyun, Kim Jong Hyeon	김중현	Kim Jong Hyun, Kim Jong Hyeon	Kim Jong Hyun, Kim Jong Hyeon
ウイリアムズ, D E(IBM)	Williams: 윌리엄즈, 윌리엄즈, 윌리엄스, Derek: 데렉, 데릭, 데릭, 더릭, 더릭, 더릭, 더릭, Edward: 에드워드, 이 ※語順は、「윌리엄즈 데렉 에드워드」のように記載。	Williams, Derek Edward	Williams: 윌리엄즈, 윌리엄즈, 윌리엄스, Derek: 데렉, 데릭, 데릭, 더릭, 더릭, 더릭, 더릭, Edward: 에드워드, 이 ※語順は、「윌리엄즈 데렉 에드워드」のように記載。	Williams, Derek Edward	Williams, Derek Edward